

1 本年度の重点教育目標

学び続ける子の育成 ～子ども一人一人が主語となる インクルーシブ教育の充実～

2 本年度の取組の重点

(1) 「まなび・こころ・からだ」を支える重点

① **いのち**…□生徒指導 □安全指導 ② **ウェルビーイング**…□教職員の意識改革 □家庭・地域から信頼される学校

(2) 「まなび・こころ・からだ」の幼少接続・小中連携

③ **連携**…□幼少連携 □小中連携

(3) 「まなび・こころ・からだ」の重点

④ **まなび**…□教育課程 □学習指導 □特別支援教育 ⑤ **こころ**…□学年学級経営 □道德教育 □特別活動

⑥ **からだ**…□体力向上 健康指導

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
① いのち	いじめ、不登校や様々な問題行動に適切に対応するように努めている。	a	「いじめ見逃し0」の徹底 ・年3回のいじめアンケート、教育相談の実施。 ・スクールカウンセラーとの連携の充実 ・サポート委員会、個別支援の充実 ・外部機関との積極的な連携	A	A	
	安全指導の充実に努めている。	a	・運営協議会をはじめ、PTA、町会、警察等外部機関への積極的な働きかけと連携 ・地震や津波など自然災害への対応～地域企業を含む連携の拡大	A	A	
② ウェルビーイング	教職員の働き方改革を進め、教育の質の向上に努めている。	b	・複式学級の増加と児童・職員数の減少を踏まえた体制強化と見直し ・児童一人一人の学力・体力の向上を目指す教育活動の充実	A	A	
	家庭・地域・学校が目指す子ども像や教育目標、学校運営の基本方針を共有し、教育活動を充実させている。	b	・「地域全体で子どもたちを育てる」という前提に立ち、家庭・地域の教育力を交えた学校づくり（グランドデザイン）	A	A	
③ 連携	幼児教育施設で育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施している。	b	・小1プロブレムを防ぐための幼保連携（引継ぎの徹底、体験入学・説明会の充実）	A	A	
	巴中学校区の目指す子ども像に向けて、小中連携を図っている。	b	・中1ギャップを防ぐための中学校体験や教職員の交流の充実（年2回の体験、授業公開、合同研修等） ・必要に応じたPTAの交流	B	B	
④ まなび	教育課程の工夫・改善と、授業力向上により、質の高い学びを実現を目指している。	a	・全国学力・学習状況調査やCRT検査など具体的な数値の分析と改善策の共有（基礎・基本の徹底、授業の振り返りの共有） ・複式学級における指導体制の確立に向けた研修（誰一人取り残さない）	A	A	
	児童一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行っている。	a	・一人一人の振り返りを検証し、個別支援の体制の整備。（支援級との協力） ・一斉指導や個別の支援など児童の実態に応じた指導体制の工夫。（ICT機器の活用、個別支援）	B	B	
⑤ こころ	一人一人のよさや可能性を生かした学年学級経営を行っている。	b	・失敗を出し合える学級づくり（安心・安全な学級） ・自己肯定感（自分への自信）をもてる活動の継続（係活動、児童会活動、褒めあえる環境）	A	A	
	道德教育や特別活動を充実させ、豊かな心を育てている。	b	・日常の道德教育の充実とともにICT機器を活用し一人一人が考え行動できるサイクルの確立 ・子供と子供、子供と地域、子供と家庭など多くの人間関係の中で心を育てる体制の確立	A	A	人間関係を育てる体制の一つとして、ここ最近他の学校での暴力問題について中学年～高学年の生徒達に多方面の方に指導を依頼して良い事悪い事を理解指せる事も方法も有ると思います。
⑥ からだ	体育授業や体力向上の取組の改善・充実により、健康の保持増進を図っている。	a	・体育の時間を中心とした体力向上の取組の継続。（なわとび、体をほぐす運動など） ・健康観察充実と継続。（端末利用、内容の精選） ・外部講師を活用した健康増進教育の充実（食、薬物、病気、性に関する など）	A	B	・各関係機関と連携を図り、薬物乱用や法に触れる事の重大差を理解指せる事が大事だと思います。また性教育も同様と感じますので警察や医師(看護師)の講話等有れば良いと思います。 ・体育嫌いを作らないためにも、まずはいろいろなことに挑戦させてほしい。できることから始めることが重要。
	家庭、地域と連携した健康指導により、児童の自己健康管理能力を育てている。	b	・各種情報機器やネット依存に関する適切な利用に関するか低との連携。（講習会、資料提示等） ・学年に応じた「自己管理」ができる生活習慣の育成（家庭との連携を重点）	A	A	

ご意見

- ・ゲームのやり過ぎで朝が起きれない子ども達が増加して居ると思う。この問題は親御さん達も携帯等に夢中になっている傾向があるので難しい問題と思われませんが、結局親御さん達からの改善ですね。
- ・自己管理するためには知識プラス体験することが重要。